

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
司法・犯罪心理学			17831	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
十倉 利廣	選択	2	法務省心理職として非行・犯罪アセスメントなどに従事する。 少年鑑別所長、矯正研修所長等を歴任する。			

授業の到達目標

- ・司法・犯罪分野の制度及び同分野の心理臨床の領域を概観できる。
- ・犯罪の原因及びメカニズムに関する諸理論を理解できる。
- ・警察関係機関、家庭裁判所（少年及び家事）、少年鑑別所、少年院、刑事施設（刑務所）、保護観察所、被害者支援領域における心理臨床業務に関する知識を習得する。
- ・非行・犯罪に関するアセスメント及び処遇技法に関する基礎知識を習得する。
- ・この授業を通して、KAISEパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を身につける。

授業の概要

司法・犯罪領域における心理臨床の理論や業務を理解するために、犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を身につけるとともに、司法・犯罪分野の問題に対して必要な心理に関する支援についての基本的知識を身につける。

授業計画

1. 司法・犯罪心理学の基礎知識
2. 犯罪心理学理論の進展 1
3. 犯罪心理学理論の進展 2
4. 各種犯罪 1（窃盗）
5. 各種犯罪 2（薬物犯罪）
6. 各種犯罪 3（性犯罪）
7. 各種犯罪 4（暴力犯罪）
8. 捜査心理学 1（プロファイリング）
9. 捜査心理学 2（虚偽検出）
10. 捜査心理学 3（証言）
11. 精神鑑定
12. 犯罪被害者支援
13. 家庭裁判所における心理臨床
14. 少年鑑別所における心理臨床
15. 少年院・刑務所における心理臨床及び授業のまとめ

授業の方法

講義を中心とする。

準備学修

webで参照すること。

課題・評価方法

適宜レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。
平常点60%、定期試験40%

欠席について

原則として、欠席数が5回を超える場合は成績評価対象外とする。

テキスト

毎回講義資料を配布する。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
健康・医療心理学			17835	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石川 慎一	選択	2	医師			

授業の到達目標

心理職に求められる健康心理学の基礎及び応用領域についての知識を深める。また、健康心理学に関する原理や方法、求められている専門性について具体的に説明できる。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）を養う。

授業の概要

近年我が国でも心理の国家資格が誕生し、健康保健・医療分野における心理職の立場は確立しつつある。今後心理職による社会への貢献を考える上で、健康心理学、医療心理学の基礎知識の獲得、および近年の動向を把握してゆくことが必要である。この授業では、健康とは何か、疾病予防、健康増進に対する心理学的なアプローチについて、またストレスと心理支援、そして、健康・医療の様々な現場における心理支援の実践について領域ごとに学ぶ。

授業計画

1. ガイダンス-健康心理学とは
2. 健康心理学におけるアセスメントと支援
3. ストレスマネジメント-ストレスと心身の疾病との関係
4. 各種の心理支援法
5. 医療心理学-医療現場における心理社会的課題及び必要な支援
6. 医療心理学におけるアセスメントと支援
7. 精神科、児童精神科
8. 院内独立型心理室
9. 心療内科
10. 小児科(母子保健含む)
11. 緩和医療
12. 産業保健
13. 地域保健活動の実際-保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援
14. 災害心理学-災害時等に必要心理に関する支援、多職種協働と医療連携
15. まとめと試験

授業の方法

講義形式で実施する。毎回授業の冒頭で、前の講義の振り返りテスト等、小テストを実施する。地域の医療機関等について調査しレ

ポートとして提出後、発表する機会も設ける。

準備学修

テキストの予習復習、小テストの準備、レポート作成等の課題を実施する。

課題・評価方法

平常点30点、定期試験70点

欠席について

各授業への欠席で3点、遅刻で2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格となる。

テキスト

宮脇稔他編『健康・医療心理学』医歯薬出版株式会社 2018

参考図書

その都度適宜紹介する。

留意事項

本講義は土曜の午後の2コマ連続の集中講義となる。日程を掲示するので確認する事。